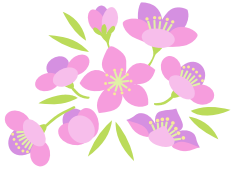




Good Wood Communication!

# かけがいの森から



## 「掛川産材」を市内の木造住宅に使いたい

森林所有者の顔が見える家作りは実現するか？

産地偽装、消費期限偽装、中国の餃子事件等をきっかけに「食」に対する市民の意識はさらに高まった。そのなかで生産者と消費者の信頼関係、フードマイレージ、産地地消、食料自給率といった大切なキーワードが浮かび上がってきた。

「住」についても同じことが言える。森林所有者が汗して造った山の木を、地元の家作りに活かすことが大切である。それは地産地消の家作りであり、ウッドマイレージ（産地と消費地の距離×運搬量）を小さくし、所有者と施主の距離を縮める。

## 森林組合を支える大ベテラン

(居尻 杉山一雄)



- ① 低コストで素材を供給できる森林づくりをさらに進めること。(境界保全・間伐・作業路)
- ② 製材さんや建設会社さんと地産地消の家づくりネットワークをつくらせていくこと。
- ③ 森林所有者さんの利益を確保することともに、次の育林コストについても検討すること。
- ④ 材木の適正な品質を確保すること。



→イメージ写真です。



## 海岸松林の松くい虫被害と植栽 ～次の世代を植えて育つ～

本年度は海岸の松林の枯松被害が本当にひどい年だった。旧大東町・大須賀町の150号線沿いの松林は真っ赤になって枯れた。地元の方々が大切に育てた樹齢何十年という松が次々枯れていく姿はなんともいたたまれない気持ちにさせられる。しかしその一方で地元や県市により、次の世代を植え、育てる取り組みも盛んになっている。「抵抗性松」をはじめ、様々な樹種が植栽されている。これらの苗木が防風・防砂の役割を担うのはまだ先であるが、立派な海岸林に成長してほしいと思う。



## 森の力再生事業 3年目を迎えるためのミーティング

携わるものの心得を今一度確認

- ① 森林所有者の理解が得られる施工方法か？  
山主さんの出来上がイメージについてよく考えること。同時に20年30年後の山をイメージすること。
- ② 愛情を持って山・木と接しているか？  
先代・先々代が終戦後の物のない時代に、汗を流して造った山を、後の世代に継ぐ役割を自覚すること。
- ③ 当然ながら、残す木を大切にしているか？  
傷口から出るヤニは木の「涙」と思え。「血」を流していると思え。
- ④ 作業路の設計は適正か？  
幅員・切土量・法高・線形・排水を適正に行うこと。

平成20年度、県の森づくり県民税による「森の力再生事業」が3年目を迎える。新年度の事業計画開始にあたり、常勤役員が調査計画・現場管理・現場施工に携わる職員を集め、今一度現場施工の留意点を確認した。



「とくに作業路開設時など、残す木を傷つけてしまうことがある。しかしこれらを留意して現場に臨むことで、現場の仕上がりはよりよくなるはずだ」  
専務の言葉に職員と現場オペレーターは身を引き締めた。

## 組合を支えるベテランの素顔

杉山一雄 (七十二歳)

山仕事の経歴は半世紀を超える。その間に培った技術は若手には計り知れない。大径木の伐倒、架線の架設・集材技術、山仕事の技術を知り尽くす。昔は山に小屋を建てて泊り込みで仕事をしてきたことも。

一方、そのほかからユーモア溢れる人柄は従業員皆から慕われ、いまだ宴会時の中心は杉山さんである。

杉山さんの持つ「技術」と「若さを保つ秘訣」、若手の学んでおきたいところである。

## 大尾山顕光寺の「かいどう」の花

4月中旬、今年も花開きます。樹齢200年の木に咲く可憐な花をぜひ一度ご覧下さい。



## 新戦力「天野信夫」が加わりました!

出身地はの平島地区。自宅は薪ストーブに吹き抜けの空間が広がるお洒落な、山小屋風の木の家。これから掛川の山のため、尽力していただけます。

**趣味:** 最近、ヒノキの先端を使ってキーホルダー掛けを製作中とのこと。

**家族:** 奥様と娘さんの3人暮らし。



## 「親」という字の話 ~立ら本を見せろ~

ふつう「親」という字は(木の上に立って見る)と書くといわれるが、最近ある本で「親」という字は(立木を見せる)と書く」とあるのを目にした。親は物心ついた子供を森の中に連れて行き、共に古い立木に触れることで、悠久の時の流れと、自分達も自然の一部であることを教えるものなのだという。

「自然の大切さ」や「謙虚な気持ち」を教えることも「親」という字に込められているのかもしれないと感じた。(筆者)



### 調査状況

山の整備はまず森林の調査から始まる。所有境界、立木密度、樹種、林齢、胸高直径、樹高等を調べる。その中で特に重要なのは立木密度。密度調査には様々なやり方があるが、「釣竿法」は簡単で素早い。

#### 〈やり方〉

山の中で5.64mの釣竿をクルッとひとまわし。竿に当たった木の本数から5.64×5.64×3.14で100m<sup>2</sup>当りの密度がわかる。何回かやれば山全体の立木密度を推定できる。



### 選木状況

調査が終わると選木作業に移る。調査したデータから適正な間伐率を算出する。その後、伐採する木を選んでマーキングしていく。当然、リフォームに使う材料となる木はその中にも含まれる。木を見る目が必要である。



### お施主さんの山立会

「この木を使ってこだわりの家を建てたい」とお施主さん。この日はお父様も一緒。「木が大きくなった」と感慨深げに話された。



次回は伐採・集材編です。広報秋号にてお伝えする予定です。

### 森林データ どんない山から丸太を出すの?

面積 2.5ha  
立木密度 1200/ha  
平均胸高直径 28cm  
スギ:ヒノキ=1:9  
間伐率 20% 緩傾斜地



## 森林組合発! 地産地消の家づくり ドキュメント

### 「S邸のリフォーム現場を追う① 調査・選木編」

はじめに「このお客様から言われたことは「うちの山の木でリフォームをしたい。但し間伐材の売り上げでリフォームの材料費はゼロに収めてくれ!」ということでした。伐採する山はスギ・ヒノキの六十九年生。手入れが行き届き、木の素性がよい。既設の作業路のおかげで搬出コストは抑えられそう。間伐と言っても、これらの木は立派な成木。なんとか材料以外の丸太の売上げで、リフォーム材の製材コストはまかなえそうである。

“これいい!” 購買担当「藍ちゃん」の

## おすすめGOODS!

いよいよ雑草との格闘が始まるシーズン。よく切れて丈夫な鎌、そして目立てをして使える刈払機用30枚刃はいかがですか?



一度使ったら忘れられないこの切れ味

- ①猫印 195g 「手鎌」 ¥1,700
- ②猫印 130mm 「手鎌」 ¥2,730

研ぐのは大変。

でもチップソー以上の切れ味

- ③角鳩印 30枚刃  
「草刈用カッター」 ¥1,050



平成二十年度も境界保全事業・治山事業による本数調整伐・森の力再生事業を三本柱に、様々な事業に取り組んでまいります。若手職員たちも十年目、五年目を迎えます。ますますがんばってまいりますのでご支援宜しく願います。

### 平成二十年度 事業予定

平成十九年度、様々な事業に取り組んできましたが、三月をもってすべての事業を無事完了することができました。ひとこに組合員の皆様のご理解、ご協力のおかげと、感謝申し上げます。

### 平成十九年度 事業完了報告

ひとこ ちょうど1年前の広報誌に職員の子供たちを載せました。あれから1年。あの子供たちはいったいどんな風に成長したのでしょうか? 内輪ネタとは思いつつも、少々堅い紙面になごみを・・・と思い、登場していただきました。右の点と点をつないでみてください。親の顔を想像して!



## 掛川市森林組合

TEL 0537-25-2111  
FAX 0537-25-2113  
E-mail [kakemori@vc.tnc.ne.jp](mailto:kakemori@vc.tnc.ne.jp)

吉野家

尾崎家

舟津家

